（別紙4（2））

事業所名：グループホームこまくさ

作成日：平成30年　1月　9日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	新人スタッフも増えた上、様々な災害に対応する必要があることから、スタッフ全員が技術と知識を習得できているかは疑問。	定期的・計画的な避難訓練の開催。年間を通してなるべく全スタッフが参加し、技術と知識を習得したい。	避難訓練の担当委員と共に、年間の計画を作成する。また管理者は勤務の調整を行い、なるべく全スタッフが参加できるような環境を整え、災害時にスムーズに動けるようにする。	12ヶ月
2	23 28 37	重度化（看取りを含む）に対応すると同時に、重度者以外の利用者の活性化にも対応する必要がある。	スタッフそれぞれが利用者や家族としっかりと関わり、ニーズの抽出に努め、そのニーズを実現できるよう柔軟な対応ができるようになりたい。	認知症ケアについての各種研修会への参加、事例検討を含めた取り組みについて学ぶ機会を持ち、ケアの質の向上に努める。	12ヶ月
3		新しい研修受講の体制を整えたが、スタッフ全員に周知できているとはいえない状況にある。そのためスタッフが自己研鑽に努められるような環境を作る必要がある。	スタッフ全員が目標を持ち、それに向かっていく過程において、研修を活用してもらいたい。	年間の目標をより具体的に考え、GHに届く研修の案内などをスタッフが目に付きやすい場所に置き、自己研鑽・研修受講を意識できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。